

新たなごみの資源化施設について

「町田市一般廃棄物資源化基本計画」を踏まえ、2013年に策定した「町田市資源循環型施設整備基本計画」に基づき整備を進めている、新たなごみの資源化施設について、2021年3月の行政報告以降の進捗状況等を報告いたします。

1 資源ごみ処理施設（ビン・カン、ペットボトル、容器包装プラスチック等）

資源ごみ処理施設整備は、相原地区は2025年度、上小山田地区は2027年度の稼働に向け、関係者と施設の建設に関する協議及び調整を進めております。相原地区については、資源ごみ処理施設に隣接して整備を行う（仮称）大戸広場の整備事業について、地元で事業計画等を6月に説明する予定としています。

今後も地域のご理解を得ながら、整備事業を進めてまいります。

2 町田市バイオエネルギーセンター（ごみ焼却施設、バイオガス化施設、不燃粗大ごみ処理施設）

（1）工事の進捗状況及び今後の予定

新工場棟・新管理棟を囲っていた足場が取れ始め、建物の外観が確認できる状況となってきています。工事は順調に進捗しており、建物の内外装工事及び焼却設備、発電設備、バイオガス化設備等のプラント工事を進めています。

7月には受電を開始し、各設備の試運転を開始する予定となっております。

また、西側の交差点改良工事も10月中旬の完了に向け、順調に進んでおります。工事にあたっては、引き続き、周辺への配慮に努め、安全第一に進めてまいります。

（2）バイオガス化施設の稼働準備

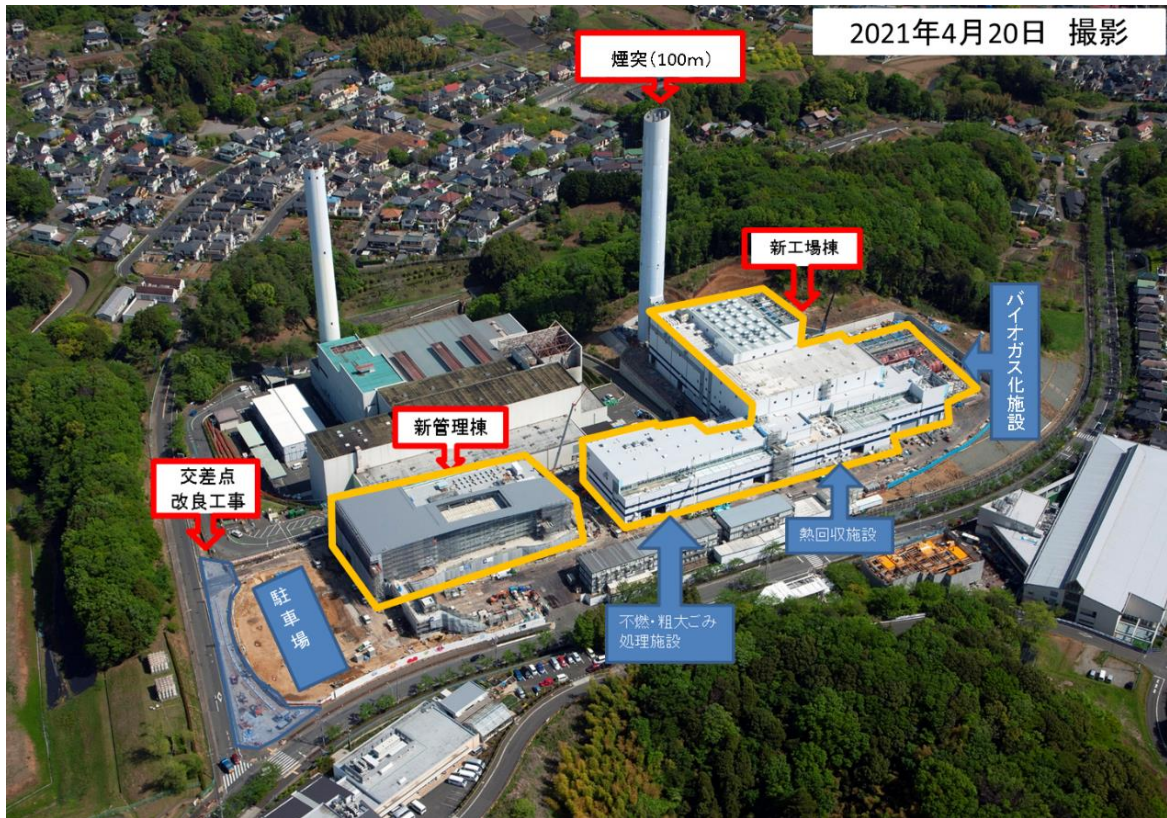
バイオガス化施設を稼働させるための準備として、メタン発酵に必要な下水道汚泥を、8月中旬頃より搬入する予定としています。

下水道汚泥は産業廃棄物であるため、一般廃棄物処理施設である町田市バイオエネルギーセンターで取扱うことができるよう、町田市一般廃棄物処理実施計画を一部変更し、必要な手続きを行ってまいります。

【バイオガス施設試運転スケジュール】

2021年8月	2021年9月	2021年10月	2021年11月	2021年12月
下水汚泥の搬送及びメタン発酵槽への投入 (2週間)	汚泥の馴致 (2週間)	メタン発酵槽へごみ投入による発酵確認 (2.5ヶ月)		性能確認 (1ヶ月)

【町田市バイオエネルギーセンター工事位置図】



【施設整備のスケジュール】

(年度)

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
					現在				
設計	[Bar]								
第1期工事	旧管理棟・旧花の家解体工事 造成工事								
第2期工事			工場棟建築工事・プラント工事 新管理棟建築工事						
第3期工事						2022年1月～ 施設稼働	運営開始		
第4期工事							既存工場棟解体工事		
							ストックヤード棟・外構工事		